



## S NS発信で売り上げアップへ WEB マーケティング講座

10月8日(金)、農業就業改善センターでWEBマーケティング(市場戦略)講座が開かれ、約15人が参加しました。WEBマーケティングとは、Web上で商品の認知拡大や販売促進を効果的に行うこと。講師はマーケティングコーチのヴァンゲンドあきさん。講座では、SNSを活用していかに顧客を獲得し、売上アップにつなげるかについて話がありました。



↑WEBマーケティングの基本を語るヴァンゲンドさん

↓当時のエピソードを話すアイリーン・スミスさん(右から2人目)



## 忘れてはならない、歴史と背景 地域の芸術環境づくり助成事業

10月2日(土)、つなぎ美術館でトークセッション「MINAMATA はどういきるのか」を開きました。宝くじの社会貢献広報事業として、地域の芸術環境づくり助成事業の助成金を活用。アイリーン・スミスさん(写真家)、川延安直さん(福島県立博物館副館長)、原田利恵さん(国立水俣病総合研究センター研究員)をゲストに迎えて開かれたトークのようすは、11月中旬につなぎ美術館 YouTube チャンネルで公開します。

## 協力隊から学ぶ郷土の魅力 津奈木中学校総合的な学習

10月18日(月)、津奈木中学校2年生39人が総合的な学習で町地域おこし協力隊3人と交流しました。生徒は3グループに分かれて体験学習。生徒自らが隊員に取材し、活動内容や本町で活動しようと思ったきっかけ、隊員から見た町の魅力などについて質問していました。橋本愛唯さん(川内)は「郷土の魅力を再発見できた。自分でできることから魅力を発信していきたい」と話していました。



↑テーブルを自作し、いすをバーナーで焼き付け(濱口仙太郎隊員)



↑《入魂の宿》でハーブなどを植樹(大平由香理隊員)



↑手作業で稲を刈った後、わらで束ねました(小野孝弘隊員)

## 小学校のクラブ活動のために サラダ玉ねぎ収益金寄付

9月24日(金)、JAあしきた青壮年部から津奈木小学校PTAに寄付金が手渡されました。5月に同校近くの畑で収穫したサラダ玉ねぎをインターネット通販サイト「豊洲市場ドットコム」で販売し、その売り上げの一部を同校や社会体育クラブに寄付していただいたもの。部長の林辰徳さん(倉谷)は「子どものために役立ててもらえたらうれしい」と話していました。



↑江口和郎PTA会長に寄付金を手渡す林さん(左)

## 冬の大き根収穫が楽しみ! 津奈木中学校大根種まき体験

10月1日(金)、中尾地区の畑で津奈木中学校1年生37人が大根の種まきを体験しました。これは、町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、生徒に農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JAあしきた津奈木青壮年部と協力して行っています。この大根は無肥料・無農薬の自然栽培で育てられ、12月ごろに生徒が収穫し、寒漬大根を作ります。



↑大根の種をまく生徒。収穫が楽しみです

↓表彰を受けた鶴田さん(前列左端)



## 地域の交通安全に大きな貢献 管区連名・緑十字銅章表彰式

9月21日(火)、水俣警察署で開かれ、管区連名・緑十字銅章表彰式が開かれ、むつみ交通株式会社の鶴田尚也さん(染竹)が緑十字銅章を受賞しました。これは、長年にわたり交通安全活動に尽力した交通安全功労者や優良運転者に贈られるものです。鶴田さんは「さらなる安全運転に努め、地域から交通事故を少しでも減らしていきたい」と話していました。



↓辞令を手にする福田さん(右)

## 子どもの教育のために尽力 教育委員辞令交付式

10月1日(金)、福田征起さん(福浦)を教育委員として町長が任命しました。平成21年から委員を務め今回が4期目。任期は10月1日から令和7年9月30日までです。本町では、毎月1回定例会を開き、子どもたちの教育について話し合っています。福田さんは「微力ですが、津奈木町の教育のために全力を尽くします」と決意を述べました。